

【水が私たちにもたらすこと】

千葉県

光英VERITAS中学校

二年

木村 舞夏

私は水を大切にすべきだと思います。私たちが普段何気なく飲んだりしている「水」について考えたことはあるでしょうか。私は小学校の授業で水について学んだことがあります。私が「水」と言われて初めに思いついたことは「飲む」と「津波」です。この二つは水がもたらす良いことと悪いこと、言い換えれば「恵み」と「災い」です。私たちが住んでいる地球は「水の惑星」と呼ばれるほど水があります。実際、地球の表面の約十分の七は水で覆われています。私は、こんなに大量にある水はどのような恵みや災いをもたらしているのか気になり、私たちにとって「水」とはどのようなものか考えました。

「水」と言われて「飲む」ということを始めに思い付く人も多いと思います。水を飲むことは健康に繋がります。水の恵みは他にもあります。水は生きるために必要です。飲む以外にも料理で使用したりします。食べ物を作るための稲作、畑作でも水は重要です。また、水の恵みを受けているのは人間だけではなく動植物も同じです。動物は体を冷やしたり、乾燥を防ぐために水浴びをします。植物は成長したり、光合成をするために水が必要です。他にも、生命と直接関係がないところでも水は恵みをもたらしています。例えば、水は「水力発電」でも使われています。水力発電とは、水の力で電気エネルギーを得る方式のことです。また、水力発電は温室効果ガスの排出が少なく、地球の環境に悪影響を及ぼさない自然エネルギーの中でも、太陽光発電の次に発電量が多く、たくさんの人に恵みをもたらしています。

こうした良いことがある中、水がもたらす「災い」もあります。例えば、水は地震などがあつたときに津波を引き起こすことがあります。また、大雨が原因で土砂崩れが起こったり、川が氾濫することもありません。こうした災いは私たちに大きな被害をもたらします。しかし、最近はい

ンフラ設備が充実して来たりしているので、大規模な水害は減ってきています。また、災いは解決することは難しくても、被害が最小限になるように備えることはできるのです。

恵みと災いをもたらす水には問題もあります。最近は大気汚染が問題となつていますが水質も汚染されているそうです。水質が汚染されると健康に害が出たりと生態系に大きな影響を及ぼします。また、水力発電にも問題があります。水力発電は水がないと発電ができず、降水量によって発電量が変わってしまいます。また、ダムの増設にもお金がかかります。さらに、地球は始めに述べた通り「水の惑星」と呼ばれるほど水があります。実際に私たちが使える水は極めて少ないのです。地球にある全ての水をドラム缶一個としたら私たちが使える水はスプーン二杯分だそうです。節水をしないと水が無くなってしまいます。そして、これらの問題の主な原因は、人間の行動にあることが多いです。私たちにできることはないのでしょうか。

水は私たちの生活に大きく関わっています。そして、私にとって凄く大切なものです。しかし、水は「限りある資源」です。何も考えずに使っていたらいつかは無くなってしまいます。水が与えてくれる「恵み」に感謝し、「災い」に備えながら、さまざまな問題と向き合っていくことが肝心だと思います。これからも大切な資源である水を守っていききたいです。